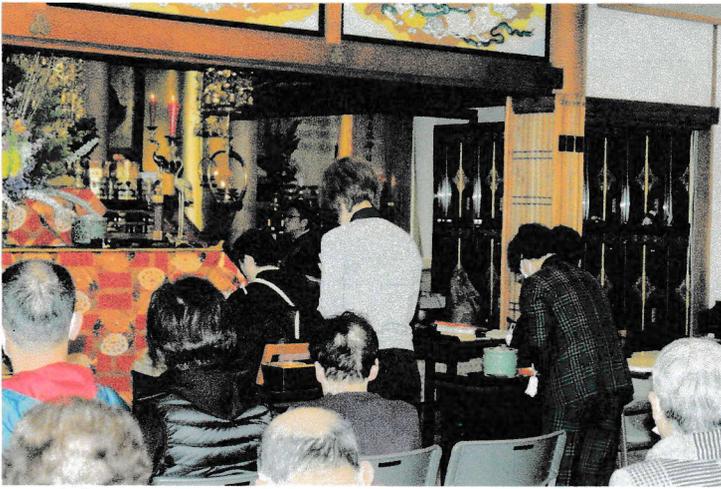


春の法要・福祉講座・ふえピ演奏会

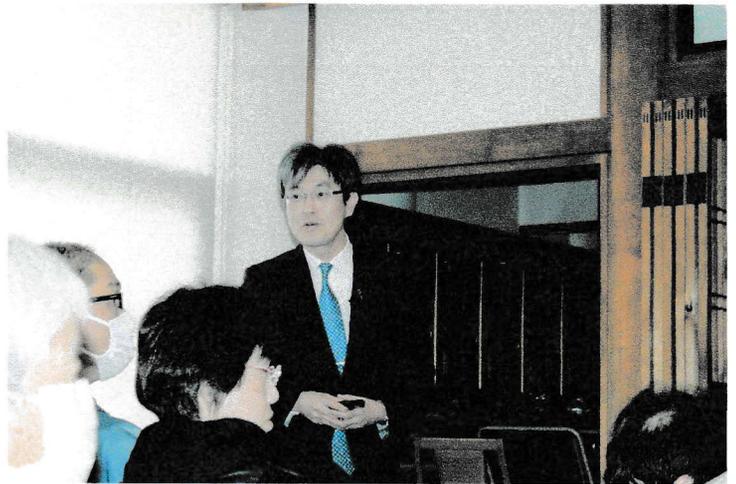


福祉講座「人生のハッピーエンドを迎えるために」と題して木下医師のお話を伺いました。15年前までは、胃ろうを積極的に進められていた先生が、自分で食べることも、話すことも、動くこともできない高齢者の姿に愕然とされたのが医師としての転換点だったそうです。尊厳ある最期を迎えるために、病院で亡くなる方と在宅で亡くなられる方の大いなるギャップに悩まれた経験が先生の原点です



寺ともサービスは、ふえピ演奏会。リコーダーとけん盤ハーモニカのデュオによる演奏です。連続朝のドラマのテーマソングや大河ドラマ「西郷どん」のテーマソングなどを披露して下さいました。リコーダーの松村さんの3人のお子さんもパパの演奏に合わせてカワイイダンスを踊ってくれました。こんな素敵なサプライズもあった演奏会を聞いた皆さん全員が、晴れ晴れとした笑顔になりました。

4月1日(日)午後1時～徳成寺にて、春の法要が勤まりました。この日は隣の公園の桜が満開となり、春爛漫を通り越し初夏の陽気でした。いろいろな思いを胸にお参りして下さいるお一人お一人がいとしくもあり、懐かしく思えました。こうして仏様にお参りできたことに感動し、皆さんにお会いできたことに喜びを感じます。「遇いがたくして、今遇うことを得たり」という仏語が思い起こされます。



そこでいざという時、尊厳ある最期を迎えるためにやっておく準備についてのアドバイスがありました。どんな最期を希望するのか？どこで最期を迎えたいのか？など具体的な問いを投げかけられました。そうやって死に向き合うことが、本当の安心を見出した行くことにつながると教えて下さいました。また人生をエンジョイし、肯定感をもって生きて欲しいという励ましも頂きました。

